

農業

令和4年1月号
会誌 No. 1685



目次

巻頭言

年頭に当たって……………吉田 岳志 3

論壇

「みどりの食料システム戦略」と食料安全保障……………堀江 武 4

農業懇話会

日本の農業生産力の要……………西田 瑞彦 6
水田土壌をめぐる問題とその管理の方向性

表彰農家訪問

タバコからサツマイモへの品目の転換と加工・販売の展開……小巻 克巳 23
—熊本県益城町に香山勇一氏を訪ねて—

食を楽しむ

古き佳き野菜たちに新たな息吹で WKWK ♪旋風を……………小堀 夏佳 31

研究の最前線

新たな食味評価法を用いた……………中場 勝 32
極良食味水稻品種「つや姫」の育成と普及

農業・農村の現場から

山村の無人駅で手作り料理をお腹いっぱい……………松本 和浩 41
—サヨばあちゃんが目指す「万人の活躍の場」の建立—

世界の農業は今

パプアニューギニアにおけるバナナの品種と利用……………小谷 真吾 47

私の経営と志

自分に合った志を……………佐野 健志 53
—育兒と農業の両立—

東京農業大学収穫祭から (I)

循環型資源について考える……………農友会 農村調査部 55
—バイオプラスチックから見た社会—

農政情報…………… 59

大日本農会だより…………… 60

編集部から…………… 61

会誌「農業」に関するアンケート

表紙写真説明

虎豆の脱穀作業 (北海道訓子府町)

北海道は豆類の主産地となっており、虎豆は胆振地方やオホーツク地方で盛んに生産されています。虎豆は白地に濃黄褐色と淡黄褐色の斑紋が入っており、その模様が虎に似ていることから、虎豆と称されています。この豆はつるが長く伸びるため、女竹といわれる支柱が使われ多くの手間がかかり、価格も小豆や金時などの菜豆よりも高く流通していることから、白花豆・紫花豆・大福豆とともに高級菜豆とされています。

JA きたみらい管内では脱穀作業後、近隣14JA の豆類調製施設であるオホーツクビーコンファクトリーで選別し、全国に出荷されます。

豆が柔らかく煮えやすいことに加え、粘りがあることからとてもおいしく、古くから「煮豆の王様」ともいわれていますので、ぜひ見かけた際は手にとってご賞味ください。

(写真及び文：きたみらい農業協同組合営農振興部担い手グループ 菊池 光祐)